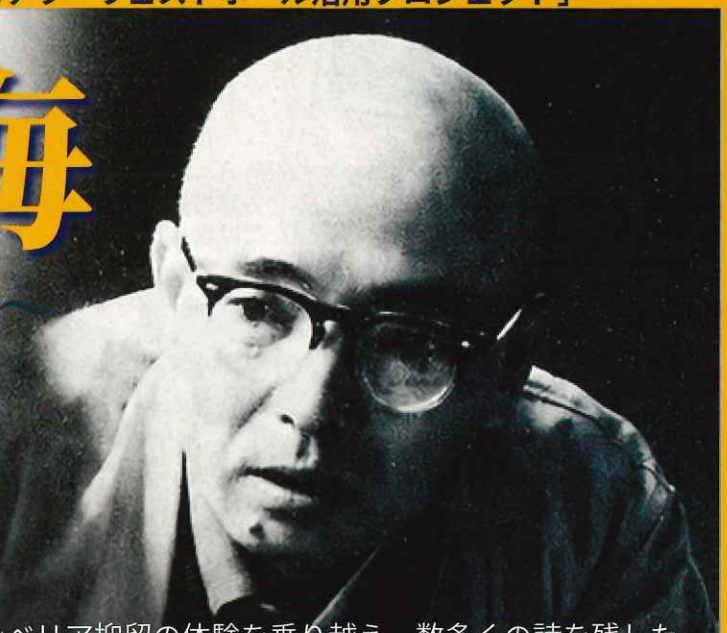
令和8年度文化協会企画提案型委託事業「ふじみ野ステラ・ウェストホール活用プロジェクト」

望郷と海

～シベリアから未来へ～



シベリア抑留という過酷な体験を経て、
石原吉郎は、生きること、人間の尊厳、
言葉の力を問い続けた。
1960年から亡くなる1977年まで旧上福岡
市旧上野台団地（現・ふじみ野市）で暮らし
ながら、「サンチョ・パンサの帰郷」
「水準原点」「望郷と海」など
数多くの作品を生み出した。
その存在や詩に触れる機会は
少なくなっている。
そして、今、若者が、市民が、
石原吉郎をよみがえらせようと
している。

シベリア抑留の体験を乗り越え、数多くの詩を残した

石原吉郎

（いしはら　よしろう）

『現代詩読本2 石原吉郎』思潮社 1978年より

3.7 2027（日）

開演 14:00 (開場 13:30)
ふじみ野ステラ・ウェスト ホール
埼玉県ふじみ野市大井中央2-1-8

現代を生きる高校生を主人公に、石原吉郎の詩と人生に出会う舞台。
演劇・詩・音楽・映像・コンテンポラリーダンスを融合した新しい舞台芸術を創作します。
若手クリエイター、そして市民がともにつくる舞台です。

【チケット料金】

【種類】	一般	高校生以下（未就学児はご遠慮ください）	親子ペア券 一般1枚＋高校生以下1枚
SS席 指定席	3,000円	2,000円	3,000円
S席 指定席	2,000円	1,000円	2,000円
A席 自由席（2階席）	1,000円	500円	1,000円

※ 障がい者手帳をお持ちの方は料金が半額になります。
チケット購入後、ふじみ野市文化協会までメールにてご連絡下さい。

チケット販売中！！

チケットは左記QRコードから、または
ふじみ野ステラ・イースト、ウェストの
窓口にてお求めになれます。

HTTPS://P-TICKET.JP/FUJIMINO/



ふじみ野市（旧上福岡市）旧公団上野台団地に詩人・石原吉郎は17年間住み、人生を終えました。そのゆかりの地で、舞台芸術『望郷と海』を上演することには、大きな意味があるのではないかと思います。
みなさん応援してください。
よろしくお願いします。

杉本真維子（詩人）

協賛金・支援金での制作支援を受付けています。

応援ページはコチラから！▼

ご支援いただいた資金は、この作品を完成させるために必要な、
舞台制作費・広報費・会場費・映像制作費・多くのスタッフ人件費などに活用させていただきます。

【演出】内田 拓海　【脚本】亀山 空　【主演】佐藤 文雄　【監修】杉本 真維子

『望郷と海』▶▶
ふじみ野市文化協会
事業詳細内容 HP

後援：日本現代詩人会
企画：ふじみ野市文化協会
TEL：049-256-9708　Mail：fujimino.bunkakyokai@gmail.com

ふじみ野市
文化協会 HP

主催：ふじみ野市、ふじみ野市立文化施設指定管理者日本環境マネジメント株式会社

市民参加のための ワークショップ

詩の創作・演劇・映像・コンテンポラリーダンスの
ワークショップを行いました。ふじみ野市民だけではなく
埼玉県内や都内からも参加していただけました。

演劇

2026/8/11・12

参加者と劇団銅鑼
所属俳優・演出家・
脚本家による演劇
ワークショップ



本読みの様子

詩の創作

2026/8/2・8/9

参加者と詩人
杉本真維子さんによる
詩の創作
ワークショップ



素晴らしい詩がたくさんうまれました

映像

2026/7/30・8/5
・8/8・8/10

中学生・大学生・社会人
参加者と尚美学園大学
藤橋先生による
短編映画製作
ワークショップ



酷暑のなかふじみ野市内を撮影

ふじみ野市短編映画制作WS作品
「めぐるめぐる歴史のカケラ」

完成作品は
コチラから ▶

ダンス

2026/8/3

参加者と尚美学園大学
清水先生による
コンテンポラリーダンス
ワークショップ



全身で表現！

市民参加型舞台芸術の中核として、この夏、各種ワークショップを行いました。石原吉郎の詩と人生に向きあい、ここからさらに作品を練り上げていきます。すばらしい作品にするために、みなさまのご支援をお待ちしています。

プロのアーティスト & 若手クリエイター

現在、『望郷と海～シベリアから未来へ～』公演制作を進めています！

みなさまのご支援よろしくお願いします!!



【身体表現】清水フミヒト　【音楽】中村淳　【舞台監督】蒲倉潤　【映像】林蓮美　【演出】内田拓海　【石原吉郎役】佐藤文雄　【脚本】亀山空　【監修】杉本真維子　【演技指導】馬渕真希　【事業協力】木村浩則

【演出助手】佐藤凜　【音楽】松井啓真　【演技指導】武智香織

舞台芸術「望郷と海～シベリアから未来へ～」関連事業

詩人 石原吉郎 顕彰 第1回 ふじみ野詩賞コンクール

日々の生活のなかで詩をつくるということ。
私たちはことばで表現することができます。
あなたの詩を紡いでください。
ふじみ野市には今も昔も詩人がいます。

応募いただいた詩篇は審査員によって選考し、ふじみ野詩賞を決定します。
受賞作品は、ステラ・ウェストギャラリーで展示し、授賞式にて表彰します。

応募期間	**2026年10月1日(木)～11月30日(月)まで（当日消印有効）**
応募資格	年齢・居住地は問いません。
応募部門	1.小学生の部、2.中学生・高校生の部、3.一般の部
参 加 費	参加費無料。但し、郵送にかかる送料は応募者の負担とします。
選考委員	広瀬大志さん（詩人・日本現代詩人会理事長） 杉本真維子さん（詩人・日本現代詩人会前副理事長）

【応募規定】

▶作品について
・未発表の自作詩１篇、日本語で書かれた詩であること。

▶提出物について
・題名を含めA4版20字×20行、400字詰め3枚以内。原稿は縦書きとします。

▶提出方法
・メールに添付して送信するか、郵送してください。
提出者がわかるように、提出原稿と裏面応募用紙に
[①題名、②氏名、③ペンネーム(使用する場合のみ)、④応募部門(年齢)、⑤住所、⑥電話番号、⑦メールアドレス]を明記し、メールの場合は添付、郵送の場合は同封してください。応募用紙がない場合は作品に表紙をつけ①～⑦を記入し、メールの場合は添付、郵送の場合は同封してください。
・郵送する場合は下記ふじみ野市文化協会宛、封筒表面に「ふじみ野詩賞コンクール応募」と明記してください。
・応募作品の返却はいたしません。

【応募・お問い合せ先】 ふじみ野市文化協会 ふじみ野詩賞コンクール応募

〒356-0011 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
ふじみ野市役所 第3庁舎
TEL： 049 -256-9708　FAX： 049-256-9709
メールアドレス：fujimino.bunkakyokai@gmail.com

ふじみ野市文化協会HP

ふじみ野詩賞コンクールについて

令和8年度文化協会企画提案型委託事業 「ふじみ野ステラ・ウェストホール活用プロジェクト」

選考結果発表について

最優秀賞：ふじみ野詩賞１点、各部門：優秀賞2点、佳作３点とし、選考結果は2027年1月中旬頃、ふじみ野市文化協会ホームページで発表及び授賞者への通知とします。

作品展示会

ふじみ野詩賞受賞作品及び応募作品の展示会を開催します。

期 間 ： 2027年2月26日(金)9時 ～ 3月7日(日)17時
場 所 ： ふじみ野ステラ・ウェストギャラリー

授賞式

2027年2月28日(日) 14時～
ふじみ野ステラ・ウェストギャラリー

ふじみ野詩賞 選考委員

杉本 真維子
Maiko Sugimoto



詩人
ふじみ野市在住

1973年長野県生。学習院大卒。現代詩手帖賞受賞。詩集『袖口の動物』で第58回Ｈ氏賞・第13回信毎選賞、『裾花』で第45回高見順賞、『皆神山』で第31回萩原朔太郎賞受賞。中国語訳詩集『裾花』（台湾）、エッセイ集『三日間の石』、評論集『言葉に渇く底なし沼』等。武蔵野美大等兼任講師。ＮＨＫ Ｅテレ「ネコメンタリー 猫も、杓子も。杉本真維子とこはく」出演。舞台芸術「望郷と海～シベリアから未来へ～」監修。

広瀬 大志
Taishi Hirose

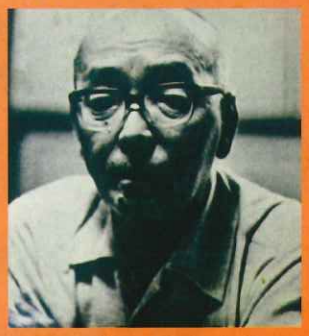


詩人
ふじみ野市在住

1960年熊本生まれ。明治大学文学部文学科フランス文学専攻。主な詩集に『喉笛城』『ミステリーズ』『髑髏譜』『魔笛』『現代詩文庫 広瀬大志詩集』『毒猫』(2024年第2回西脇順三郎賞)。『朝の夜のガスパール』(2026年第64回藤村記念歴程賞)。豊﨑由美との共著に『カッコよくなきゃ、ポエムじゃない』。

ISHIHARA YOSHIRO 石原吉郎

石原吉郎（1915–1977）は、日本の戦後詩を代表する詩人の一人です。1945年、旧満洲で敗戦を迎えた彼はソ連に連行され、約8年間にわたり過酷なシベリア抑留を経験しました。極寒と飢餓、重労働の中で人間の尊厳を問い直した彼ですが、帰国後に直面したのは、その凄惨な体験が周囲には到底理解されないという深い疎外感でした。長く沈黙を守ったのち随筆『望郷と海』を発表。収容所での体験そのものを声高に語るのではなく「語ることの不可能性」や深い苦悩を研ぎ澄まされた言葉で表現しました。晩年はふじみ野市（旧上福岡市・上野台団地）で過ごし、その言葉は今も私たちに静かな問いを投げかけています。



写真：「現代詩読本2・石原吉郎」（1978年 思潮社）より

キリトリ

【応募用紙】 詩人 石原吉郎 顕彰「第1回 ふじみ野詩賞コンクール」

※下記の項目に必要事項を記入し作品とあわせてご応募ください。✱印の項目は必ずふりがなを記入して下さい。

✱ ① 題　名	
✱ ② 氏　名（本　名）	
✱ ③ ペンネーム（使用の場合のみ）	
④ 応募部門　（年齢）	
⑤ 住　所	
⑥ 電話番号	
⑦ メールアドレス	

令和8年度文化協会企画提案型委託事業 「ふじみ野ステラ・ウェストホール活用プロジェクト」

ふじみ野に住んだ詩人 石原吉郎をもっと知る講演会

～ シベリア強制収容所で極限を体験した詩人・石原吉郎の詩と言葉が伝えるもの ～

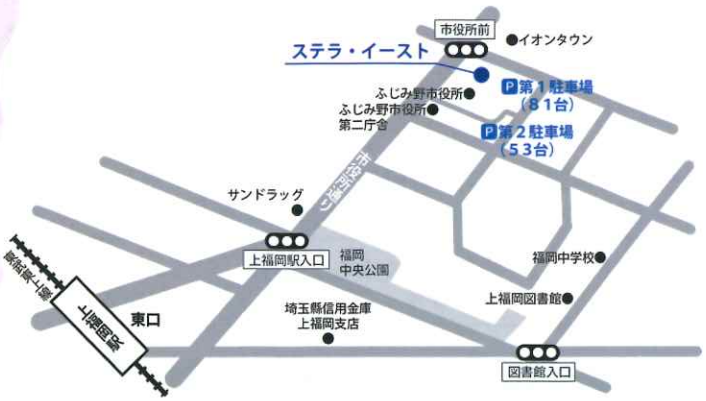
講師

野村喜和夫

2026 **12.5** 日

14:00-16:00

ふじみ野ステラ・イースト
多目的ルーム



講演会詳細は
こちらから

企画・運営：ふじみ野市文化協会
主催：ふじみ野市、ふじみ野市立文化施設指定管理者 日本環境マネジメント株式会社

「ふじみ野に住んだ詩人 石原吉郎をもっと知る講演会」

～シベリア強制収容所で極限を体験した詩人・石原吉郎の詩と言葉が伝えるもの～

令和９年３月７日(日)に開催する演劇を核とするホール公演「望郷と海～シベリアから未来へ」に先立ち、公演のテーマである詩人石原吉郎を深く知る講演会を開催します。シベリア抑留から帰還後、ふじみ野市に住んだ詩人・石原吉郎の過酷な体験を通して、詩を生み出していった言葉の意味と石原の生涯について、現代詩人の野村喜和夫さんにお話しいただきます。



野村 喜和夫

Kiwao Nomura

詩人。１９５１年埼玉県生まれ。早大文学部卒。戦後生まれ世代を代表する詩人のひとりとして現代詩の先端を走りつづける。著訳書多数。
詩集に『川萎え』『反復彷徨』『特性のない陽のもとに』（歴程新鋭賞）『現代詩文庫・野村喜和夫詩集』『風の配分』（高見順賞）『ニューインスピレーション』（現代詩花椿賞）『スペクタクル』『ヌードな日』（藤村記念歴程賞）『デジャヴュ街道』『薄明のサウダージ』（現代詩人賞）『美しい人生』（大岡信賞）『パッサル、パッサル』、小説に『骨なしオデュッセイア』『まぜまぜ』、評論に『現代詩作マニュアル』『移動と律動と眩暈と』（鮎川信夫賞）『証言と抒情　詩人石原吉郎と私たち』『哲学の骨、詩の肉』、翻訳に『ルネ・シャール詩集　評伝を添えて』など。
また、英訳選詩集『Spectacle & Pigsty』で2012 Best Translated Book Award in Poetry (USA)を受賞、『ヌードな日』英訳版が英国詩書協会推薦詩集に選ばれるなど、海外での評価も高い。
最新刊に詩集『シンラ第１章』、評論『詩脳講義』。

【日時】 12月5日(土) 14時～16時（受付13時30分から）

【場所】 ふじみ野ステラ・イースト 多目的ルーム

【講師】 野村喜和夫さん（現代詩人）

【対象】 市民全般、市外参加も可

【定員】 会場60名、オンライン50名

【参加費】1,000円

【プログラム】 講演 14：00～15：30　質疑応答 15：30～16：00

【お申込み方法】 令和８年11月1日(日)から、下記①②③ のいずれかの方法でお申込みください。

①フォームからのお申込みは、右記QRコードから。
②メール、FAXでのお申込みは、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、年齢、会場参加 or オンライン参加のいずれかをを記載し「ふじみ野市文化協会」まで。
③TELでのお申込みは、氏名、住所、電話番号、年齢、会場参加 or オンライン参加をお知らせください。

お申込みフォーム ▼▼

※会場参加の方は、当日受付でお支払いください。オンライン参加の方は事前振込後メールにて文化協会までご一報ください。 お振込みを確認後、URLをメールでお送りいたします。

【お振込先】 銀行名：ゆうちょ銀行、 店名：一四八（イチヨンハチ）、 口座種別：普通、
口座番号：０６７０５３７、 口座名義：ふじみ野市文化協会（フジミノシブンカキョウカイ）

『望郷と海』
ふじみ野市文化協会
事業詳細内容 HP

ふじみ野市
文化協会 HP

【お問合せ】ふじみ野市文化協会
TEL：049-256-9708　FAX：049-256-9709
Mail：fujimino.bunkakyokai@gmail.com